

南関東防衛



南関東防衛局広報誌

令和7年
44号



根岸住宅地区から見た旧根岸競馬場一等馬見所

CONTENTS

- 1 令和6年度南関東防衛施設地方審議会の開催
- 2 令和5年度計画哨戒艦 起工式
- 3 米原子力空母「ジョージ・ワシントン」入港
- 4 ホリデーレセプション（厚木航空施設・キャンプ座間）
在日米陸軍新年祝賀会
- 5 日米合同原子力防災訓練
東富士演習場の野焼き
- 6 神奈川県警察本部における局長講演
若手職員による基地見学（横須賀海軍施設）
- 7 職員採用案内



令和6年度南関東防衛施設地方審議会の開催

令和7年2月5日(水)、南関東防衛局において、令和6年度南関東防衛施設地方審議会が開催され、佐々木会長ほか5名の委員と当局から末富局長ほか幹部職員が出席しました。

南関東防衛施設地方審議会は、自衛隊又は米軍が使用する不動産等に係る権利の対価の額等について、当局長の諮問に応じて調査審議し、必要と認める事項を当局長に建議することを目的として当局に置かれているものです。

今回は、会長及び委員の方々に防衛行政への知見を一層深めていただくため、「在日米軍の事件・事故に係る南関東防衛局の役割」について当局から説明を行いました。

その後、神奈川県横須賀市に所在する、自衛隊で唯一、中学校卒業者を対象とし、将来の自衛官を育成する陸上自衛隊高等工科学学校（生徒数約1,000名・男子のみの全寮制。令和10年度から陸・海・空各自衛隊共同化、男女共学化を予定）及び神奈川県唯一の航空自衛隊の基地として、地対空誘導弾（パトリオット）部隊（第2高射隊）が所在する航空自衛隊武山分屯基地に赴きました。現地では、同校副校長及び同基地司令を表敬し、概況説明を受けた後、高等工科学学校では授業風景や生活隊舎を、武山分屯基地ではパトリオット用発射機等を見学され、活発な意見交換や質疑応答がなされました。

当局としては、今回の見学が、同審議会にとってその役割を十分発揮していただく一助となれば幸いです。



審議会の様子



高等工科学学校副校長表敬の様子



【武山分屯基地司令表敬の様子】



【パトリオット用発射機の見学】

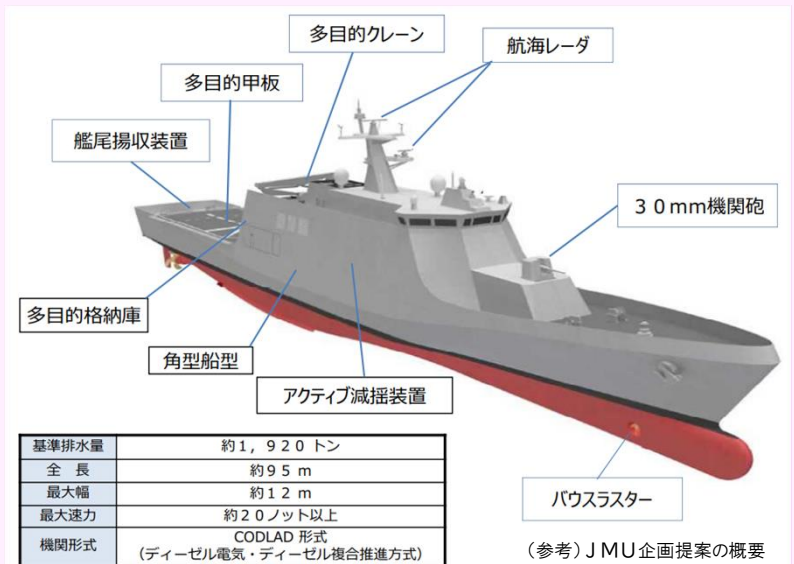
令和5年度計画哨戒艦 起工式

令和7年2月14日（金）、神奈川県横浜市に所在するジャパン マリンユナイテッド株式会社（以下「JMU」）横浜事業所磯子工場において、令和5年度計画哨戒艦（1番艦～4番艦）の起工式が厳かに執り行われました。本式典には、JMUの横浜事業所長、南関東防衛局調達部長のほか、関係者約30名が出席しました。

今回建造される4隻の哨戒艦（OPV）は、増大する警戒監視の所要等に対し、従来の護衛艦、ミサイル艇、掃海艇等の各艦艇に加えて、新たな艦艇として、長期耐洋性を有し、自動化・省人化を図った海上自衛隊で初めて採用される艦艇となります。

わが国は、世界第6位の面積となる領海や排他的経済水域（EEZ）を有するなど広大な海域に囲まれており、海上自衛隊は平素から北海道周辺や日本海、東シナ海などを航行する船舶の状況などについて、24時間態勢で警戒監視を実施しています。

海上自衛隊における哨戒艦の導入は、警戒監視態勢の強化に寄与し、海上交通の安全の確保にも資するものとなっています。



今回執り行われた起工式は、船の建造開始を告げる非常に重要な節目であり、船殻ブロックの組立て開始に先立ち、地元磯子の「杉田八幡宮」宮司による神事により、工事の安全と成功、艦の安全が祈願されました。

式典中の「起工溶接の儀」においては、JMU横浜事業所長と南関東防衛局調達部長により、船体鋼材への溶接工事が開始され、無事に哨戒艦の起工となりました。起工式にて使用した鋼材は、船体の一部として実際に使用される予定となっています。



今後、哨戒艦1番艦は、令和7年6月からドックにおいてブロック搭載を開始、引き続き、2番艦についてもブロック搭載を開始し、1・2番艦は、同年11月に進水します。その後、3・4番艦のブロック搭載を開始し、令和8年3月に進水、最終的に4隻を令和9年3月に引渡予定です。



米原子力空母「ジョージ・ワシントン」入港



米原子力空母「ジョージ・ワシントン」

令和6年11月22日（金）、原子力空母「ジョージ・ワシントン」が米国唯一の前方展開する空母として米海軍横須賀基地に入港しました。原子力空母「ジョージ・ワシントン」は、同年5月に日本を離れた原子力空母「ロナルド・レーガン」の後継艦であり、横須賀へ長期的に前方展開する6代目（5隻目）の米空母になります。

原子力空母「ジョージ・ワシントン」の日本への前方展開は今回で2回目であり、前は平成20年に日本に前方展開する初の原子力空母として横須賀に入港し、その後平成27年に日本を離れました。平成29年から令和5年にかけては、米本国で燃料交換や大規模な装備の更新工事と現代化が実施されました。

空母到着日には入港行事が開催され、エマニュエル駐日米国大使や上地横須賀市長、防衛省から田中地方協力局長、末富南関東防衛局長ほかが出席し、原子力空母「ジョージ・ワシントン」が接岸する様子を見届けました。乗組員の中には、新しく来日する乗組員だけではなく、5月に原子力空母「ロナルド・レーガン」に乗船し日本を離れ、原子力空母「ジョージ・ワシントン」に乗り換えて戻ってきた乗組員もあり、およそ6か月ぶりの家族との再会を楽しんでいました。

我が国周辺地域における安全保障環境が厳しさを増す中で、原子力空母の前方展開を通じて強固な米海軍のプレゼンスが維持されることは、我が国の安全及び地域の平和と安全の維持に不可欠であり、我が国としてこの目的のために米第7艦隊が果たしている役割を高く評価します。



【フライトデッキの人文字（久しぶり）】



【艦上から眺める横須賀港】

（写真引用元：在日米海軍司令部「X」、米国防総省「DIVIDS」）

ホリデーレセプション(厚木航空施設・キャンプ座間)

令和6年12月6日(金)、厚木航空施設において米海軍厚木航空施設司令官主催「ホリデーレセプション」が開催され、周辺自治体の関係者や南関東防衛局からも田中局次長をはじめ数名が参加しました。参加者の多くは「アグリーセーター」と呼ばれるクリスマスにちなんだ柄のセーターを着用され、会場は米国の文化を強く感じられる雰囲気となっていました。

同月16日(月)、キャンプ座間において在日米陸軍基地管理本部司令官主催「キャンプ座間ホリデーレセプション」が開催され、周辺自治体の関係者や南関東防衛局からも末富局長をはじめ数名が参加しました。サンタクロースとの写真撮影やクリスマスソングの演奏など、クリスマス感満載の素敵なイベントが行われました。



【米海軍厚木航空施設ルクレア司令官のご挨拶】



【キャンプ座間でのクリスマスソング合唱の様子】

在日米陸軍新年祝賀会

令和7年1月25日(土)、在日米陸軍司令官主催「新年祝賀会」が開催されました。昨年は能登地震の影響で急遽中止となったこのイベントは、例年キャンプ座間において行われていたものの、今回初めて米海軍が運営するニュー山王ホテル(東京都港区)において、いつもとは違う雰囲気の中で盛況に行われました。

周辺自治体の関係者のほか、自衛隊関係者や大使館関係者も多く参加され、南関東防衛局からも末富局長をはじめ数名が出席しました。

冒頭、在日米陸軍ウォーマック司令官からの挨拶により開会し、多くの来場者がそれぞれ日米間の交流を深め、新しい年を祝うにふさわしい素敵な祝賀会となりました。



【ウォーマック司令官による新年挨拶】



【ウォーマック司令官夫妻と会話する末富局長】

日米合同原子力防災訓練

令和6年12月17日（火）、横須賀市役所及び米海軍横須賀基地において日米合同原子力訓練が実施されました。

今回の訓練では、米海軍施設内に停泊中の原子力空母「ジョージ・ワシントン」からごく微量の放射能を帯びた冷却水が流出したという想定に対して、日米合同によるモニタリング調査や基地内従業員への連絡・通報などの訓練に、日米の関係機関から約180人が参加いたしました。

当局では、横須賀市から災害対策本部が設定された連絡を受けて、連絡要員として横須賀市に職員を派遣し、基地内従業員の状況報告などの情報伝達の対応を行いました。



【TV会議によるモニタリング活動の報告状況】



【横須賀市現地対策本部へ連絡要員を派遣】

東富士演習場の野焼き

令和7年2月1日（土）、陸上自衛隊東富士演習場（静岡県御殿場市・裾野市・小山町）において、東富士入会組合ほか3入会組合による、演習場内の「野焼き」が行われました。

野焼きは、野草・薬草・山野菜等の林野産物の保護育成、野火の発生防止・演習場周辺の森林への類焼防止等を目的とし、演習場内の入会地2,745ヘクタールのススキ萱などの枯草を焼き払う、入会慣習に基づく伝統行事であり、富士の裾野に早春を告げる風物詩となっています。

当日は天候にも恵まれ、2,745ヘクタールの作業面積を4つの作業区に分け、午前9時30分から一斉に点火作業を開始し、自衛隊の支援要員を含め、約千名が作業に参加しました。



【概況説明を受ける末富局長（右）】



【第3作業区（印野山）にて】

神奈川県警察本部における局長講演

令和7年2月13日（木）、末富局長は、神奈川県警察（県警）本部において、南関東防衛局の業務についての講演を行いました。これは、県警本部警務部長からの依頼を受けて実施したものであり、県警幹部職員約90名が聴講しました。

講演では、当局が日頃から在日米軍や自衛隊と密接に連携を図っていること、また、関係自治体に対し丁寧な説明と迅速な情報提供に努めていることなどを説明し、聴講者もメモをとりながら熱心に耳を傾けていました。講演後も、警察活動を展開する上で役立てたいといった趣旨から、多数の質問が飛び交うなど活発な質疑応答が行われました。

今後、当局が緊急事案などを対処していくうえで、県警との連携は益々重要性を増していくと思われます。そのような状況下において、今回の講演は、双方にとって大変有意義な機会となりました。



【県警の幹部職員を前に講演する末富局長】



【警務課長から感謝の花束贈呈】

若手職員による基地見学（横須賀海軍施設）

令和6年12月16日（月）に米海軍横須賀基地において、日米同盟や防衛協力に関する見識を深めることを目的として、末富局長及び南関東防衛局の若手職員（10名）による見学会が実施されました。

基地内では、第15駆逐艦隊のハーツ司令官から海上自衛隊と米海軍の連携に関わる講話をいただき、若手職員らと意見交換を交わしました。



【ハーツ司令官から講話を受ける若手職員ら】
（写真提供：第15駆逐艦隊）



【洞窟内での集合写真】
（写真提供：第15駆逐艦隊）

また、DESRON15（第15駆逐艦隊）洞窟の見学も行いました。洞窟内は全長数十km以上あり、水溜や机など戦時中使用されたものも残されていました。

今回の見学は、若手職員の防衛省・在日米軍の業務に関する知見を広げる貴重な経験となりました。今回の経験を通して、地方防衛局の職員として、在日米軍と円滑な連携を図れるよう努めてまいります。

南関東防衛局 職員採用案内

【 2026年4月新規採用 】

架け橋として 防衛行政を支える存在であれ！

～南関東で地域に根ざした防衛行政を担ってみませんか～

試験区分

≪ 大卒程度試験 ≫

- 行政職 ○ 行政
- 技術職 ○ デジタル・電気・電子
- 機械
- 土木
- 建築

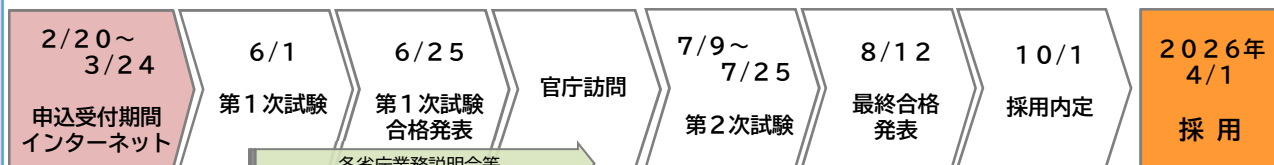
≪ 高卒者試験 ≫

- 事務職 ○ 事務
- 技術職 ○ 技術

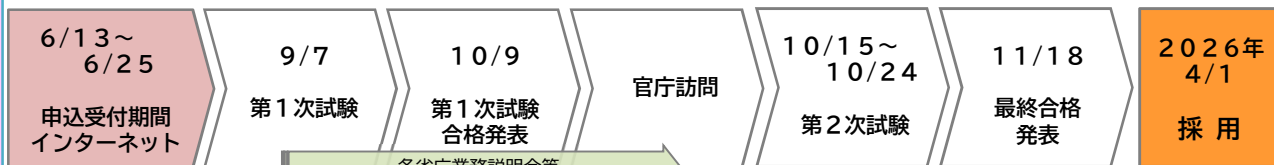


採用スケジュール 2025年度国家公務員採用一般職試験

≪ 大卒程度試験 ≫



≪ 高卒者試験 ≫



防衛省HPの採用情報で業務説明会の開催案内を順次掲載しますので、ご確認の上、ぜひご参加ください！

お問い合わせ先 防衛省 南関東防衛局 総務部総務課人事係
TEL：045-211-7133

採用情報



防衛省HP



人事院HP